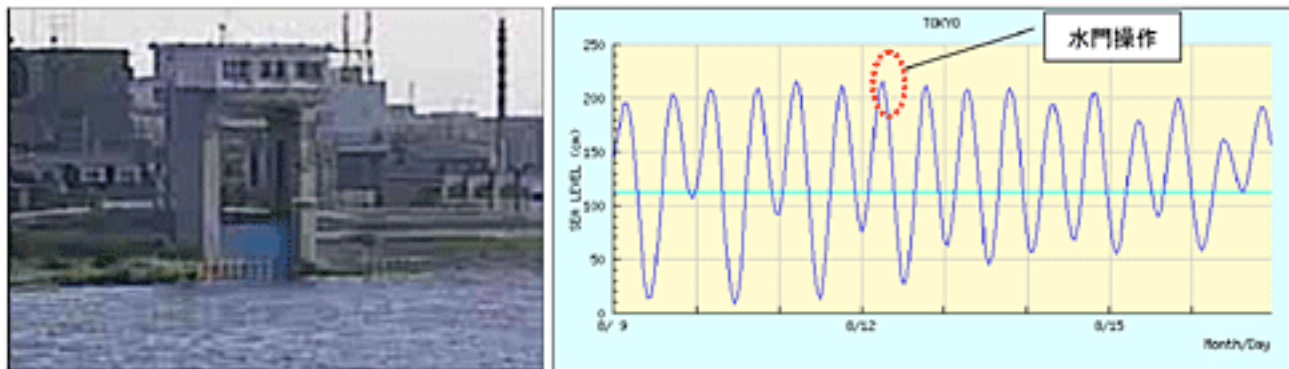




■ H22(2010)年8月12日

台風4号の接近に伴う対応について

多摩川の河口部では、台風4号の接近と大潮の満潮が重なることにより、水位が上昇しております。このため、京浜河川事務所では、浸水被害を未然に防止するため、水位の監視を行い、8月12日（木）午前5時30分から羽田第一水門と羽田第二水門の操作を行いました。今後も潮位の状態と台風4号の進路を監視し、施設の操作を行って参ります。



閉鎖された羽田第1水門と当日の潮位変動

【詳細は文末をご覧ください】

台風4号の接近に伴う対応について

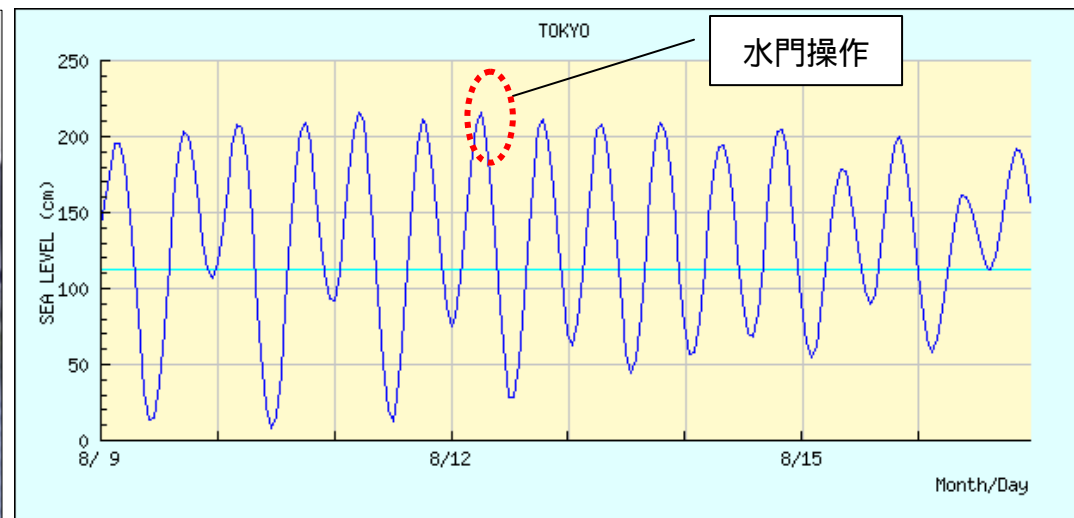
多摩川の河口部では、台風4号の接近と大潮の満潮が重なることにより、水位が上昇*しております。このため、京浜河川事務所では、浸水被害を未然に防止するため、水位の監視を行い、8月12日(木)午前5時30分から羽田第一水門と羽田第二水門の操作を行いました。今後も潮位の状態と台風4号の進路を監視し、施設の操作を行って参ります。

* 豆知識(気象庁HPから引用)

台風が接近して気圧が低くなると海面が持ち上がります。これを「吸い上げ効果」といい、外洋では気圧が1hPa低いと海面は約1cm上昇するといわれています。例えばそれまで1000hPaだったところへ中心気圧が950hPaの台風が来れば、台風の中心付近では海面は約50cm高くなり、そのまわりでも気圧に応じて海面は高くなります。



羽田第一水門の閉鎖状況
(8/12 6:00頃 河川管理用カメラ画像)



東京の天文潮位(気象庁HPから)